



園路の脇から噴き上がる湧水

13年ぶりの光景！ 園路をサラサラ 湧水の流れ



園路には湧水の水たまりが広がった

10月下旬、井の頭池周辺に驚くべき光景が広がった。園路脇のあちこちから湧水が湧き出したのだ。その数、15ヶ所以上。台風22号に伴う大雨で、地下水位が大幅に上昇したためだ。園路の湧水は、日に日に量を減らしながらも1ヶ月以上続き、最後まで出ていたお茶の水井戸の湧水は12月初めまで確認されていた。

そして池底では、今も湧水が湧いている。先の台風以降、池の水量が増加しており、ほとんどの井戸水の補給を停止している（12月現在）。ほぼ神田川へ毎日流出している水量分の湧水が湧いていることになる。井の頭池の湧水は2015年と2016年に行われたかいぼり27でも確認されていたが、陸上から湧き出したのは、台風による雨量が多かった2004年10月以来のことである。



湧水で遊ぶ子どもたち

こうした現象は、地下水位が上昇すれば湧水が回復することを示している。台風22号による地上からの湧き出しは、武蔵野三大湧水池の三宝寺池、善福寺池でも確認された。これから始まるかいぼり29では、干し上がった池底を流れる湧水が見られるかもしれない。



水面近くに群れるウキゴリの稚魚（5月撮影）

これから始まるかいぼり29を経て、今後、水生生物がどのような変化を見せるのか、引き続き見守っていく。

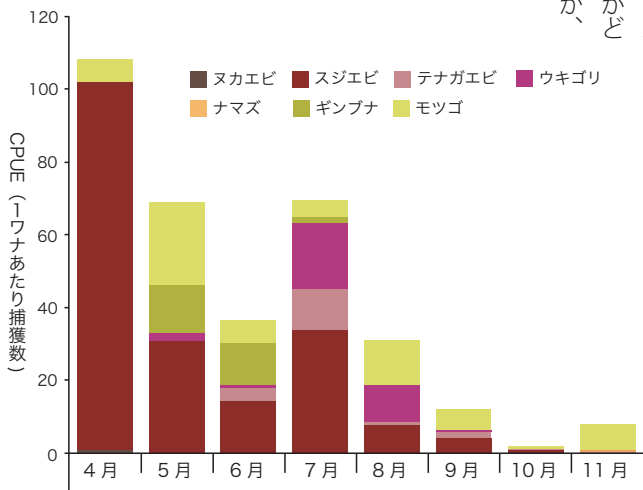


図. 張網での在来種の捕獲数 (2017年)

速報 水生生物モニタリング & アメリカザリガニ防除

井の頭池では毎月1回、張網（小型定置網）に入る魚類・エビ類の種類と数を記録している。2017年の在来種のモニタリング結果（お茶の水池）を左図にまとめた。図は1ワナあたりの捕獲数（CPUE）を示している。

かいぼり27後の2016年、在来種が大幅に増加した。2017年は、前年と比べるとスジエビ、テナガエビ、ウキゴリが顕著に増加した。在来エビ類は、カイツブリがヒナの食物として頻りに利用していた。エビ類の増加が、カイツブリの繁殖を支えるひとつの要因になったと言える。ハゼ類のウキゴリは、これまでは確認数が少ない魚だったが、今期は橋上から稚魚の群れがいくつも見えるほど多かった。井の頭池では、かいぼりですりセットされた生態系がまだ安定しておらず、在来種の中で優占種がめまぐるしく変化している状態である。



張網によるモニタリング

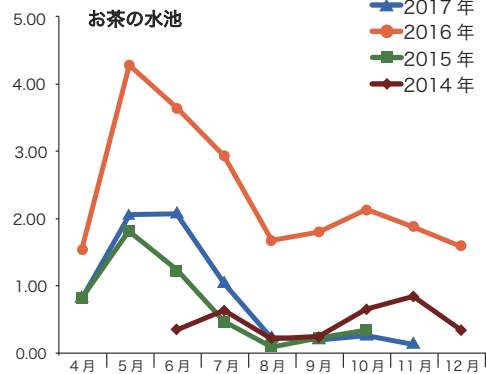
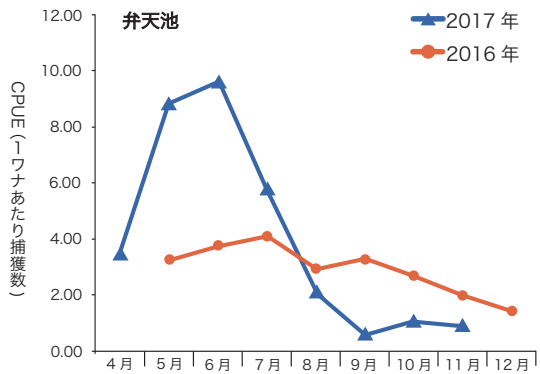


図. 遮光型カゴ網でのアメリカザリガニの1ワナあたり捕獲数の月別推移 (弁天池とお茶の水池)

アメリカザリガニ 前年よりも減少か？

アメリカザリガニは、かいぼり後に再生した水草を切断したり、ヤゴなどの水生生物を食ってしまう困った外来種だ。かいぼりのときには泥にもぐってしまつので、水のある時期にカゴワナで捕獲している。

お茶の水池では2016年は前年よりも捕獲数が増したが、2017年には減少した。はっきりした原因は不

Topics

100周年記念で井の頭公園初の行幸啓

11月22日に天皇・皇后両陛下が井の頭公園を訪れ、園内をご散策されました。ご散策中は、井の頭のかいぼりやその後の自然再生についてのご説明を熱心に聞かれ、弁天橋では生きものを紹介した看板の内容に大変興味を持たれていました。

弁天橋の生きもの紹介看板を食い入るようにご覧になる両陛下。案内は東京都西部公園緑地事務所長。

明だが、年ごとにワナ数を増やすなど対策を強化したことが生息密度の低下につながっているのかもしれない。

弁天池では、2017年5〜7月は、前年同時期の捕獲数を大幅に上回った。弁天池は絶滅危惧種イノカシラフラスコモの生育地になっており、天敵であるアメリカザリガニ対策が急務である。

2017年の防除活動では、前年より多い170基のワナを仕掛けた。回収作業はなかなかの重労働だが、簡単に手をゆるめることはできない。より効果的な防除をできるように、引き続き地道に取り組んでいきたい。

ワナ回収の様子。今年はサクラの季節に始まった

水辺環境の手入れをしました

生きもの豊かな浅場や湿地をつくるために、11月12日・19日に保全作業を行いました。

まずは、岸付近に繁茂していた常緑の外来樹木の除伐。水面を覆っている低木を取り除いて日照を回復しました。来春には、水草や湿性植物が芽生えてくるかもしれません。もうひとつのメニューは

ヨシ原の刈り取り更新。密生して弱ってきたヨシを刈り、若返りを図りました。

井の頭池では市民参加による植生管理作業は初めての試み。かいぼりで再生した自然をより豊かなものへ育んでいくために、ゆるやかな手入れを行っていきます。

ノコギリを持って池の中へ！

いけいけ！かいぼり隊

イケメン イケガール
～池男&池女、かいぼり出稽古！の巻～

和田堀池では体長1mのソウギョを捕獲！

かいぼり29が近づく11月、かいぼり経験を積むために出張かいぼりを実施した。2日・3日は都立和田堀公園和田堀池、23日は都立光が丘公園バードサンクチュアリだ。

それぞれの池では、地域の小学生や一般参加者をサポートしながら魚捕り。かいぼり経験者の1・2期生隊員は、久しぶりにかいぼりの感覚を思い出しながら、生きものの仕上げや運搬に活躍した。

今夏から加入した3期生にとって今回は初めてのかいぼりだ。慣れない泥に苦戦しながらも、かいぼりの魅力にはまったようだ。来るかいぼり29での活躍が楽しみである。